

主な出土遺物

カッコ内は出土した遺構



室町時代の陶器皿 (土坑 10)



室町時代の土師器皿 (土坑 10)



室町時代の土師器鍋 (土坑 8)



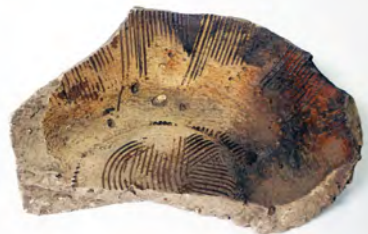
江戸時代の磁器茶碗 (土坑 16)



江戸時代の陶器茶碗 (土坑 16)



江戸時代の陶器練鉢 (土坑 16)



江戸時代の陶器播鉢 (土坑 16)



江戸時代の土師器焙烙 (土坑 16)



江戸時代の土師器茶釜 (土坑 16)



鉄製の短刀 (墓 28)



銭貨 (土坑 11)

おがたのしんでん  
小片野新田遺跡発掘調査  
現地説明会資料 ~ 松阪市小片野町 ~

2021 (令和3) 年 11 月 27 日  
三重県埋蔵文化財センター



2区 (東から撮影)

三重県埋蔵文化財センターでは、高度水利機能確保基盤整備事業にともない、松阪市小片野町にある小片野新田遺跡の発掘調査を行っています。

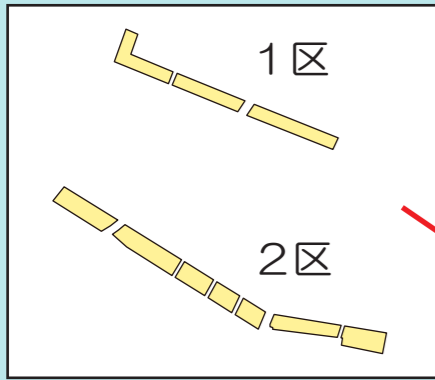
小片野新田遺跡は、櫛田川中流の段丘上にあり、遺跡の東側から南側付近を江戸時代の伊勢本街道と和歌山街道が通っています。今回、小片野新田遺跡で初めて発掘調査を行い、鎌倉時代から江戸時代の土坑や溝、掘立柱建物などが見つかりました。また、土器や陶磁器、鉄製品や銭貨などの遺物が出土しました。



遺跡位置図 国土地理院 1:25,000「横野」に加筆

- 調査遺跡名 : 小片野新田遺跡
- 所在地 : 三重県松阪市小片野町
- 原因事業名 : 高度水利機能確保基盤整備事業(北谷地区)
- 調査実施機関 : 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
TEL:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035  
<https://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/>

調査区の位置



拡大図



鎌倉時代～江戸時代の建物の柱穴や土器などが見つかりました。

ここまでの調査で北側の1区では、鎌倉時代の溝や土坑などがみられ、南側の2区では、鎌倉時代、室町時代、江戸時代の墓や溝、土坑などがみられました。また、掘立柱建物の柱穴は1区・2区ともに確認でき、特に1区のものは柱間東西4間、南北2間以上で規模の大きな建物とされます。建物の時期については検討中です。

出土遺物は鎌倉時代の土器や陶器、鉄製品、室町時代の土器や陶器、江戸時代の土器や陶磁器などがあります。

これらの発掘調査結果から、遺跡周辺に鎌倉時代から江戸時代にかけての集落があったことがわかり、当時の人々の生活を知るうえで大きな成果を得ることができました。

※ 柱と柱の間を「間」とよびます。

※1区と2区の拡大図は実際より近づけた表記にしています

主な遺構の時期	
<span style="color: blue;">■</span>	鎌倉時代
<span style="color: green;">■</span>	室町時代
<span style="color: red;">■</span>	江戸時代

☆遺構…むかしの人々の生活の跡

掘立柱建物 34 (東西2間、南北1間以上)

掘立柱建物 54 (東西3間以上、南北2間)

掘立柱建物 53 (東西2間、南北2間以上)

掘立柱建物 52 (東西4間、南北2間以上)

土坑 45

掘立柱建物 51 (東西2間、南北1間以上)

柱の列 50

溝 35

掘立柱建物 33 (東西1間、南北1間以上)

墓 28 (短刀が出土)



2区 土坑 10



2区 土坑 8



2区 墓 28



2区 土坑 16



2区 溝 3・土坑群

土坑 16 (江戸時代の土器・陶磁器が出土)

土坑 11 (銭貨が出土)

土坑 10

土坑 8

溝 3

主な遺構の配置図 (1:300) 0 10m